

第5学年「伝えたいことを明確にして、報告しよう」（全8時間）

内容のまとめ

第5学年及び第6学年

〔知識及び技能〕(2)イ 情報の扱い方に関する事項

〔思考力、判断力、表現力等〕「B書くこと」(1)ア、エ

重点的に指導及び評価する指導事項 B(1)ア

目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。

1 単元の目標

- (1) 情報と情報との関係付けの仕方を理解し使うことができる。 [知識及び技能] (2)イ
- (2) 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にことができる。 [思考力、判断力、表現力等] B (1)ア
- (3) 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 [思考力、判断力、表現力等] B (1)エ
- (4) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」

2 単元で取り上げる言語活動

身近にあるユニバーサルデザインについて報告する文章を書く。

(関連：〔思考力、判断力、表現力等〕 B (2)ア)

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①情報と情報との関係付けの仕方を理解し使っている。(2)イ)	①「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ②「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)エ)	①粘り強く、伝えたいことを明確にしたり書き表し方を工夫したりし、学習の見通しをもって報告する文章を書こうとしている。

4 指導と評価の計画（全8時間）

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
I	○単元全体の学習の見通しをもち、学習計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> 報告する文章のモデルを示すことで、学習内容に興味や関心をもつことができるようにする。 学習課題を示すことで、言語活動の内容をイメージすることができるようとする。 学習課題を基に、学習計画を立てる場面を設定することで、単元全体の学習の見通しをもつことができるようとする。 	単元において、児童の学習状況を適宜把握する場面を設定します。 ここでは、[記録に残す評価]のみを位置付けていますが、学習内容を確実に習得できるようにするために [指導に生かす評価]を適宜行います。
	○身近にあるユニバーサルデザインについて考え、書く題材を決める。	<ul style="list-style-type: none"> 家庭や地域、学校の中にあるユニバーサルデザインの具体例を示すことで、身近にあるユニバーサル 	

	<p>○題材からテーマを設定し、様々な調べ方で情報を集める。</p>	<p>ルデザインについて気付くことができるようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童自身の生活経験を想起するように促すことで、身近にあるユニバーサルデザインから題材を決めことができるようにする。 ・インターネットや図書資料、インタビューの特徴を比較し、それぞれの調べ方の特徴について気付くことができるようにする。 ・1人1台端末に配付したワークシートに付箋で情報を記録するように伝える。その際、目的や引用した部分、出典など、記録する内容を示すことで、適切に記録できるようする。 ・1人1台端末に配付したワークシートの中で、付箋を動かしたり、気付きを入力したりするように促すことで、集めた情報を分類したり、関係付けてまとめたりすることができるようにする。 ・意見交流を行う際の観点を示すことで、集めた情報を整理したり、伝えたいことを明確にしたりできているか、確認できるようする。 	
2 ・ 3 ・ 4	<p>○集めた情報を整理し、報告する文章で伝えたいことを明確にする。</p>	<p>[知識・技能①] 1人1台端末の記録・観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集めた情報の内容を基に分類したり、関係付けてまとめたりしているかを確認する。 <p>[思考・判断・表現①] 1人1台端末の記録・観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集めた情報を目的や意図に応じて整理し、伝えたいことに合わせて必要な情報を選び、伝えたいことを明確にしているかを確認する。 	
	<p>○報告する文章のモデルを参考にして、文章の構成を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・報告する文章のモデルを再度示すことで、「初め・中・終わり」の構成にすることを確認できるようする。また、引用したり、写真やイラストを用いたりする場合は、何を伝えたいのか目的を明確にすることで、伝えたいことがより効果的に伝わることに気付くことができるようする。 ・文章の構成表を配付することで、それぞれのまとまりの役割を把握し、整理した情報の配列を意識して、文章の構成を考えることができるようする。 	

	<p>○報告する文章の下書きを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 下書きをする際は、文章の構成表を基にすることや、小見出しを立てることを伝えることで、目的や意図に応じて書き表し方を工夫することができるようになる。 	<p>[思考・判断・表現②] 【人・台端末の記録・観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引用したり、写真やイラストなどを用いたりして、自分の考えが伝わるよう書き表し方を工夫しているかを確認する。
5 ・ 6 ・ 7	<p>○友達と下書きを読み合う。</p> <p>○下書きを推敲し、それを基に清書する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 下書きを読み合う際は、観点を示すことで、自分と友達の文章を比較し、よい点や改善点に気付くことができるようになる。 【読み合う際の観点】 <ul style="list-style-type: none"> 相手に伝えたいことが明確になっているか。 文章の構成に着目し、それぞれのまとまりに誤りがないか。 引用の方法が適切か。 報告する文章が読み手に理解しやすいか。 推敲では、下書きを読み合った際の友達からのアドバイスや気付きを基にるように促すことで、文や文章を整えることができるようになる。 	<p>[主体的に学習に取り組む態度①] 【人・台端末の記録・観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> 粘り強く目的や意図を意識し、情報を整理しながら、報告する文章を書こうとしている様子を確認する。 <p>※本評価は、全ての時間の振り返りの記述等と合わせて評価する。</p>
8	○単元全体の学習の振り返りを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題を基に、課題解決に向けてどのように気に付けながら報告する文章を書いたのか、意見交流する場を設定する。 意見交流を通して考え方を比較することで共通点や相違点に気付くことができるようになる。 振り返りの視点を示すことで、単元全体の学習について振り返りを行うことができるようになる。 【振り返りの視点】 <ul style="list-style-type: none"> 伝えたいことを明確にしたり、書き表し方を工夫したりするためにどのようなことに気付けたのか。 今回学んだことを、次の学習にどのように生かしていくたいか。 	

5 本時（4／8時）

（1）本時の目標

集めた情報を目的や意図に応じて整理し、報告する文章で伝えたいことを明確にすることができる。

（2）本時の展開

	学習活動 ・予想される児童の反応	指導上の留意点（○）と評価規準（◇）【評価方法】
導入	<p>1 前時の学習を振り返り、本時の学習のめあてを立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさん情報が集まつたから今日はそれを整理しないといけないな。 ・どうやって情報を整理するのかな。 ・集めた情報の中からどの情報を使うと4年生の学習の手伝いになるかな。 	<p>○学習計画を確認したり、本時の学習の見通しが示されている振り返りを紹介したりすることで、本時のめあてを立てることができるようにする。</p> <p style="text-align: center;">めあて 集めた情報を整理して、報告する文章で伝えたいことを明確にしよう。</p>
	<p>2 本時の学習活動について確認する。</p> <p>・スロープのひみつ 安全・安心</p> <p>[ワークシートのモデル]</p>	<p>○ [ワークシートのモデル] を黒板に掲示し、情報を整理する際の手順を確認することで、児童が学習活動を具体的に見通すことができるようにする。また、学習課題を示すことで、読み手となる4年生を意識しながら情報を整理する必要があることを確認できるようする。</p> <p>【情報を整理する際の手順】</p> <ol style="list-style-type: none"> 付箋を動かしながら、集めた情報の中から自分が伝えたい情報はどれなのかを考える。 付箋を動かしながら、似ている内容や関係している内容で、情報をまとめる。 まとめた情報を基に、報告する文章の伝えたいこととして見出しを付ける。 伝えたいことに合わせて、書く内容を選ぶ。
展開	<p>3 集めた情報を整理し、伝えたいことを明確にする。</p> <p>ポンプヘッドでみんな清けつ</p> <p>[児童のワークシートの例]</p>	<p>○調べているテーマを一覧にして教室に掲示しておくことで、児童が誰と交流するとよいのか参考にできるようする。</p> <p>○1人1台端末に配付したワークシートの中で、付箋を動かしたり、気付きを入力したりするように促すことで、集めた情報を分類したり、関係付けてまとめたりすることができるようする。</p> <p>○児童のワークシートを大型モニター等に提示することで、進捗状況を確認できるようにしておく。また、整理の仕方で悩んでいる児童には、ほかの児童のワークシートを参考にしたり、同じテーマを調べている児童と交流したりするように促す。</p>
	<p>4 ワークシートを基に、整理の仕方にについて意見交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットの情報だけではなくて、本やインタビューの情報も使った方が伝えたいことがはっきりするよ。 ・下級生にも伝わるように簡単な言葉を選んだ方がいいよ。 	<p>○意見交流を行う際の観点を示すことで、集めた情報を整理したり、伝えたいことを明確にしたりできているか、確認できるようする。</p> <p>【意見交流を行う際の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 似ている内容や関係している内容で、情報がまとめられているか。 見出しが内容と合っているか。

		<p>○意見交流を通して、友達からのアドバイスや新たな気付きがある場合は、適宜、ワークシートを修正してよいことを伝える。</p> <p>知識・技能① ◇集めた情報の内容を基に分類したり、関係付けてまとめたりしている。 【1人1台端末の記録・観察】</p> <p>思考・判断・表現① ◇集めた情報を目的や意図に応じて整理し、伝えたいことに合わせて必要な情報を選び、伝えたいことを明確にしている。 【1人1台端末の記録・観察】</p> <p>○意見交流を通して、更に必要な情報を集めたいときはインターネットや図書資料を活用して調べてよいことを伝える。</p>
終末	<p>5 本時の学習内容について、本時のめあてに対応したまとめを行う。</p> <p>6 本時の学習を振り返り、次時の学習の見通しを立てる。</p> <p>・まとめたり、見出しを付けたりすることで情報を整理し、伝えたいことが明確になりました。次は、文章の構成を考えるので、読む人に分かりやすく伝わるように考えます。</p>	<p>○数名の児童のワークシートを大型モニター等に提示することで、どのように集めた情報を整理し、伝えたいことを明確にしたのか確認する。</p> <p>○振り返りの視点を基に本時の学習を振り返ることができるようになる。また、児童自身の進度に応じて学習計画を見直すことができるようになる。</p> <p>【振り返りの視点】</p> <p>(1) 何ができたか。また、どうやったらできたか。</p> <p>(2) 次の学習にどのように生かしたいか。</p>

6 本時の評価規準と判定基準

本時の評価規準【評価方法】	判断のポイントと指導の手立て
<p>◇ [知識・技能①] 集めた情報の内容を基に分類したり、関係付けてまとめたりしている。 【1人1台端末の記録・観察】</p>	<p>「おおむね満足できる」状況（B）と判断するポイント ・集めた情報を正しく分類し、関係付けながら整理することができている。 「十分満足できる」状況（A）の例 ・Bに加え、見出しを付ける際に、読み手となる4年生を意識し、具体的に書くことができている。 「努力を要する」状況（C）と判断される児童への指導の手立て ・整理の仕方で悩んでいる児童には、ほかの児童のワークシートを参考にしたり、同じテーマを調べている児童と交流したりするように促す。</p>
<p>◇ [思考・判断・表現①] 集めた情報を目的や意図に応じて整理し、伝えたいことに合わせて必要な情報を選び、伝えたいことを明確にしている。 【1人1台端末の記録・観察】</p>	<p>「おおむね満足できる」状況（B）と判断するポイント ・必要な情報を選び、関係付けてまとめ、見出しを付けることで伝えたいことを明確にしている。 「十分満足できる」状況（A）の例 ・ワークシートを基に友達と意見を交換し、情報をまとめる際に関係性を考えながら、より適切な情報を選んだり、新たに探したりできている。 「努力を要する」状況（C）と判断される児童への指導の手立て ・目的や意図に応じた情報を選ぶことができていない児童には、目的や意図に合う情報を教師が一つ選び、それに関連する情報を児童が選ぶように声を掛ける。 ・見出しを付けることができない児童には、見出しの手掛かりとなるように、まとめた情報の中の同じ言葉や似ている言葉、関係する言葉について教師と一緒に確認するようにする。</p>